

令和2年度 寒河江市立陵東中学校 学校運営協議会による学校評価シート

【教職員による自己評価】
4：できている 3：おおよそできている
2：あまりできていない 1：できていない

【学校運営協議会による総合評価】教職員による自己評価及び改善策は、
A：適切である B：おおよそ適切である
C：あまり適切とは言えない D：改善を要する

＜経営の重点に対する教職員自己評価＞

経営の重点と具体策	自己評価 (4+3)	課題に対する主な改善策	学校運営協議会からの意見・提案等（主なものを抜粋）	総合評価
重点1 生徒理解に努め、生徒の自己有用感を高める		<ul style="list-style-type: none"> ◆ 支援を要する生徒の「個別の支援計画」を整備し、どのような支援が必要なのかを共通理解した上で、<u>学力向上支援員の活用等により、通常学級での支援体制を充実させていく。</u> ◆ 担任の負担軽減、更なる情報共有の活性化のためにも、「<u>学級担任制</u>」から「<u>学年（全員）担任制</u>」へ移行し、生徒を全ての教員（チーム）で指導していく体制づくりを進めていく。 	<ul style="list-style-type: none"> ・コロナ禍にありながらも生徒との信頼関係を築く努力をされている。 ・不登校の問題が改善傾向にあることに対し、これまでのご指導に感謝します。 ・自尊心を大切にし育む教育を今後も重視してほしい。 ・生徒一人ひとりに対応した教育環境機能の向上に努めていただきたい。 ・不登校の生徒に対し教師も生徒も負担なく学校生活ができる体制作りを進めてほしい。 ・学年担任制は教員のみならず生徒にとっても負担軽減やさらなる活性化につながると思う。 ・学年担任制への移行は通常学級内の支援につながり、支援体制の強化に繋がると思う。 	A
（1）生徒一人ひとりの居場所と出番のある学級づくりに努める	83%			
（2）生徒と向き合う時間を意図的につくる	96%			
（3）生徒の心に寄り添う教育相談機能の充実を図る	83%			
（4）特別支援教育力の向上と教育的ニーズに応じた取り組みを推進する	91%			
重点2 一人一人の学びを保障する授業づくりを徹底する		<ul style="list-style-type: none"> ◆ 来年度から新学習指導要領が中学校で全面実施となり、教科書や学習評価の方法が変更となることもあり、<u>計画的な職員研修及び教科部会を定期的に開催し、更なる学校研究の活性化、授業力向上につなげていく。</u> ◆ <u>タブレットや電子黒板など、ICT機器を効果的に活用した授業づくり、家庭学習指導を工夫していく。</u> ◆ 「<u>相互授業参観</u>」を活性化させ、常に<u>授業や生徒について語り合う雰囲気をつくっていく。</u> 	<ul style="list-style-type: none"> ・一人1台タブレット持つことで有効性が期待できると同時に、使い方の十分な指導が必要となってくると思う。 ・教師としての専門性を向上させてほしい。教師だからできることを追及してください。 ・社会の変化に対応できるような取り組みを進めていただいている。 ・積極的にIoTを活用し、コロナ禍でも探究活動を充実させていただきたい。 ・学校運営協議会の四部会や、地域の社会力等が少しでも役に立てればと思う。 ・教師の大事な使命としての「<u>学の保障</u>」を確立するためにも今後大いに期待したい。 	B
（1）生徒一人ひとりが学ぶ価値を実感できる授業づくりを推進する	86%			
（2）教師としての専門性を向上させる	61%			
（3）地域の教育力を生かした学習を充実させる	78%	<ul style="list-style-type: none"> ◆ <u>新型コロナウイルスの感染状況を見ながらではあるが、これまで進めてきた地域連携の活動を継続していきたい。その際、<u>学校運営協議会の4部会制を活用して、学校主導から地域を巻き込んだ活動</u>にしていく。</u> ◆ <u>寒河江市教育研究所の取り組みを中心に、授業や生活面での情報共有など、学区内小中の連携を強化していく。</u> ◆ <u>総合的な学習の時間を活用して、本校で企画している「<u>未来の担い手育成プログラム</u>」を実施し、その中で、地域の人材や企業との連携を進めていく。</u> 	<ul style="list-style-type: none"> ・コロナ禍の中で難しい面もあったと思いますが、職業講話で生徒が学ぶことは大きかったと思います。・商工会の方々の協力事業は今後も継続お願いします。 ・コミュニティ・スクールが増える中、今後の学区内小中連携を期待します。 ・「木曜塾」素晴らしい取り組みです。 ・地域と連携した学びづくり、活動については、今後少子化社会の中で重要な位置を占めることになると思います。 ・寒河江チャレンジ等、地元企業との連携事業は、生徒の学びに向かうモチベーションを高める取り組みであり、今後の充実と成果が楽しみです。 	B
（1）学校運営協議会制度を活用した地域・家庭・学校の連携を強化する	79%			
（2）小中連携による9年間の学びづくり	25%			
（3）地域の教育力を生かした学習の充実を図る	71%			
（4）地域を元気にする活動を推進する	27%			
重点3 地域連携を強め、地域とともに生徒を育てる		<ul style="list-style-type: none"> ◆ <u>新型コロナウイルス感染防止に向けて、油断することなく対策を講じていくとともに、差別や偏見などが生まれないよう、<u>感染症に対する向き合い方の指導なども計画的に実施</u>していく。</u> ◆ 部活動は、健康・安全を第一にしなが、生徒の主体性を生かして達成感のある活動にしていく。 ◆ <u>朝読書の時間を確保するとともに、<u>図書室を利用できる時間や機会を意図的に</u>つくっていく。</u> 	<ul style="list-style-type: none"> ・生徒の興味関心の調査や、図書の選定を進めてください。 ・コロナ対策に最善を尽くしていただいていると思います ・コロナ感染者に対して、差別や偏見が決して生まれないように、感染症との向き合い方を計画的、継続的に実施していただきたい。 ・読書は量も大事だが質も大事です。部活動と同じく回数ではなく、集中力、目的意識を大切にしたい。 ・部活動については、密度を濃くして頑張してほしい。 	B
（1）心身の健康の保持増進を目指す実践力を育成する	92%			
（2）生徒に自信と充実感を持たせる部活動を推進する	79%			
（3）校舎も生徒もきれいな学校を目指した環境教育の充実を図る	83%			
（4）心を豊かにする読書活動を推進する	71%	<ul style="list-style-type: none"> ◆ <u>新型コロナウイルス感染症への対策を油断することなく継続して取り組んでいく。また、寒河江市で予定している新しい緊急連絡システムを効果的に活用</u>していく。 ◆ <u>東日本大震災から10年という節目を迎え、改めて、当時の状況やその後の取り組み、震災から学んだ教訓等について学習する機会</u>を設ける。 ◆ 「<u>信頼のないところに教育は存在しない</u>」をモットーに、<u>サービスの厳正</u>について随時話題提供していく。 	<ul style="list-style-type: none"> ・「いのち」を考える学習の機会を設けていただけることに期待します。 ・市が予定している新緊急連絡システムとはどのようなものでしょうか。 ・先生方の言葉遣いを今後ともよろしくお願いします。 ・「今だからできること」を学習に取り入れるなど、今後子供たちの糧となるよう取り組んでいる ・危機管理は結果を問われるが、真摯な対応に感謝します。 ・今後も「いのち」を大切にされた教育を進めてほしい。 	A
（1）「いのち」を守る安全教育を推進する	86%			
（2）連携を大切にされた危機管理体制の確立を図る	92%			
（3）良識と品位を備えた信頼される教職員を育成する	92%	<ul style="list-style-type: none"> ◆ 職員の得意分野や良さを生かせるような適材適所の校務分掌を心がけるとともに、<u>OJT（職場内研修機能）が活性化</u>するような機会を計画的に実施していく。 ◆ <u>管理職が率先して職員とのコミュニケーション</u>を図っていく。 	<ul style="list-style-type: none"> ・先生方が問題を共有し、研修しあい、助け合い、楽しい職場であることを期待します。 ・「日々の様子」ソフト活用の際、個人情報が出漏れない対策をお願いします。 ・校長先生を中心に一つにまとまった運営組織になっていると思います。今のことを続けていくと合意形成は向上していくと考えます。 ・管理職による教職員への働きかけ（コミュニケーション）が風通しの良い、働きやすい職場づくりに大きく影響すると思います。 	B
（1）職員の主体性を重視した機能的な運営組織を確立する	92%			
（2）報告・連絡・相談・（記録）を徹底する	83%			
（3）職員との活発な議論による合意形成を図る	76%	<ul style="list-style-type: none"> ◆ 部活動に関わる諸課題については、国や地方自治体の動きも見据えながら、「<u>生徒のために必要なこと</u>」、「<u>教職員の負担軽減</u>」を目指して改革に取り組んでいく。 ◆ <u>前例踏襲の風潮を打破し、目的を明確にして教育課程の見直し</u>を図る。 	<ul style="list-style-type: none"> ・陵東中学校の雰囲気は明るく柔らかくなってきていると感じる。心も体も元気な職場から元気な生徒たちが育っていくと考える。 ・意欲と実効性に少し開きがあると思われる。 ・コロナ対応で苦慮している実態がある。 ・他校に先駆けて実施している毎週月曜日木曜日の部活動休止日の設定は「生徒のために必要なこと」と「教職員の負担軽減」両立に繋がっており大変評価できる。 ・「業務内容の見直しや教育課程の見直し」により期待することは何ですか。 ・先生方の負担は努力で減らすことができるものなのか。支援が必要な部分はないのか。 	B
（1）毎週月・木を自主活動日として、部活動を休みにする	83%			
（2）部活動のルールを徹底していく	79%			
（3）業務内容を見直し、効率化を図っていく	50%			
（4）柔軟かつ大胆な発想で教育課程を見直す	63%			

